

令和2年度

増穂だより

vol.220



芝浦工業大学柏中学高等学校 〒277-0033 千葉県柏市増尾700番地
TEL : 04-7174-3100(代) FAX : 04-7176-1741
URL <http://www.ka.shibaura-it.ac.jp/>

■編集／芝浦工業大学柏中学高等学校 総務部
■発行日／令和2年5月11日 発行
■印刷／株式会社横浜総合写真



Contents

■巻頭（校長）	2P	■教科情報（英語／売店）	6P
■挨拶（中学教頭／高校教頭 ／中学教頭補佐／高校教頭補佐）	3P	■芝浦工大推薦について／後援部情報	6P
■各部情報（総務／進路／入試広報 ／クオレ／研究／厚生）	4P	■中学卒業式	7P
■教科情報（国語／社会／数学／理科 ／保健体育／技術家庭・情報・芸術）	5P	■学年情報（中学／高校）	8P
		■2019年度合格実績	9P
		■トピックス／あとがき	10P

見えない身内と見える自分

校長 野村 春路

この原稿は4月中旬に書かれており、『増穂だより』本号の発行は5月を予定している。とは言え、現下の新型コロナウイルス（COVID-19）の世界的感染拡大の中で、日本国中が特別体制をとり、緊急事態となっているため、本誌が予定の時期に配布できるかは、正直わからない情勢である。今回のコロナウイルスについては、行政関係者、医療の専門家、マスコミなど様々な人がコメントやメッセージを発信しているので、さらにこの問題について触れる必要はないかもしれない。また、現在は日々刻々と状況が変化しており、仮に本誌が予定した時期に読者の手元に届いたとしても、その時どのような状況になっているかとても見通せないため、この内容がまったく時宜にかなわない話になっている恐れもある。それらを踏まえた上で、ウイルス問題について述べてみることにする。

1. ウイルスは家出した身内 ～共生～

生物学者の福岡伸一さんが、先日専門の立場から今回のウイルス問題をめぐって、以下のことを述べている。「かくしてウイルスは宿主の細胞内に感染するわけだが、それは宿主側が極めて積極的に、ウイルスを招き入れているとさえいえる挙動をした結果である。

これはいったいどういうことだろうか。問いはウイルスの起源について思いをはせると自ずと解けてくる。ウイルスは構造の単純さゆえ、生命発生の初源から存在したかといえそうではなく、進化の結果、高等生物が登場したあと、はじめてウイルスは現れた。高等生物の遺伝子の一部が、外部に飛び出したものとして。つまり、ウイルスはもともと私たちのものだった。それが家出し、また、どこかから流れてきた家出人を宿主は優しく迎え入れているのだ。」（朝日新聞：2020年4月5日）

高等生物の細胞の中にウイルスが容易に入り込むのは、生命の進化上、もともと細胞の中にいた「家出人」が戻って来る、それを温かく迎え入れる宿主（Host）の振る舞いが働くからということである。この点を前提とすれば、ウイルスが場合によっては生物間の種を超えてさえ伝達しうることが容易に理解できる。今回のコロナウイルスはコウモリを中間宿主としていてと考えられているし、人類が苦しめられた感染症のうち、麻疹は犬から、インフルエンザは、本来水鳥を宿主としていた。

多様なウイルスのうち、99％は人間に病気を引き起こさないのであるが、1％のウイルスは病気をもたらすと研究者は見ている。なぜならウイルスにとって宿主を弱らせることは、自分も死ぬことだからである。つまり、ウイルスの振る舞いは本来共生である。また、人間に甚大な被害を与えるウイルスにしても、それを根絶したり撲滅したりすることは疫学上不可能である。この意味において、ウイルスは撲滅すべき敵というよりも、家出して舞い戻った、できれば会いたくない奴とみなすべきであり、何だかんだ言っても、結局共に生きて行かな

ければならない身内なのである。この点において、現在のウイルス対策は「戦い」ではなく、「共生への道」と考えるべきである。

新型コロナウイルスは人全員が高感受性宿主であるため、感染拡大は避けられない事態であり、麻疹やインフルエンザなどと同様にウイルスと共生するためには、最終的にワクチン（vaccine）の開発が必須となる。その時まで、この見えない身内に対し、少しも心が許せないということになる。

2. 見える自分

ウイルスが見えない身内であるとすれば、感染拡大の激動期であるからこそ見えてくるもの、正確には見えてしまうものがある。それは、自分の気持ち、人の心であると思う。

政府や行政が外出自粛のお願い・要請をすることがきっかけとなって、トイレトペーパーなど物品の買い占め騒ぎがあった。このようなことをする人は、ただ自分のことだけを考えている利己的な人であると片付けられない。その人にしてみれば、家族などの大切な人を守るために取った行動かもしれないからである。それにしても、日々行動が制限され、連日感染拡大のニュースが流れれば、人の心は縮こまる。縮こまった心はどうしても利己的になる。これを心のウイルス感染と呼ぶ人がいるが、今は利他的な行動こそが結局自分を守ることに気づくことが大切であろう。個人が勝手な行いをせず協力して他の人に感染をさせないことは、廻り回って自分の身を守ることになるからである。実はこれは一個人の問題で留まることなく、より広がりを持ち国家を超えて実行されるべき課題である。ここ数年の世界の傾向は、諸国家が内向きで自国優先主義・自国ファーストである。この国家が利己的な姿勢を持つ限り、グローバルな繋がりが密接な現代では、ウイルス対策は破綻するのは明らかで、各国が利他的に協力し合ってこそ、解決・終息への道のりが見えてくると思う。この利他主義がどれほど難しいものであろうとも、この方針で対策に取り組めるかどうか、人類はウイルスに試されているのである。

まずは、一人々々が縮こまった心を、日常の中でささやかであるが愉快的ことで何とか揉みほぐして、見えてくる利己的な自分を認めながらも、利他的に協力できることに取り組むことが良いと思う。また、一部の情報から安易に答えや結論を慌てて出さず、わからないことはわからないまま少しほっておく。そして宙ぶらりんの状態のままでも考え続ける許容力が必要かもしれないと感じている。

〔以下3点は、感染症の歴史についての本校図書館蔵書である。〕

- (1) ウィリアム・H・マクニール『疫病と世界史（上・下）』、中公文庫、2007年（初出は新潮社、1985年）
- (2) 岡田晴恵『感染症は世界史を動かす』、ちくま新書、2006年
- (3) 山本太郎『感染症と文明 ― 共生への道』、岩波新書、2011年

創造性の開発と個性の発揮

中学教頭 佐藤 文博

この3年間、中学1年生の皆さんと勉強させて頂きました。授業や学習に対する姿勢は年々向上しています。皆さんの将来が本当に楽しみです。この学習姿勢こそが自分を「創る」基本になります。学習姿勢がきちんとしていないと自ら主体的に学ぶこともできません。身に付く学習ができません。身の回りの多くのものを知り、吸収して自分を「創って」ください。吸収

自己を高める

高校教頭 松原 誠司

かつて、これほど期待感も高揚感ももてない新学期はあったでしょうか。感染への、社会への、学校への、そして自分自身に向けた不安感で覆われていることと思います。しかし、不安におびえているだけでよいのでしょうか。「漠然とした不安は、立ち止まらないことで払拭される」、将棋の羽生善治さんの言葉です。

新年度の準備

中学教頭補佐 三輪 剛史

招集日に初々しい新入生が登校し、さあ『入学式』という中、ウイルスの感染拡大を防ぐための取り組みがさらに必要になってしまいました。自宅学習の環境を整えるためには、まず教科書を手元に届けること。発送に数日かかりましたが、無事に届いたでしょうか。現在Webでのやりとりで、学習に取り組んでいる状況です。つい数ヶ月前には考えられなかった学習態勢ですが、今やれることを継続していくしかありません。校内では3年計画で「単焦点プロジェクター一体型ホ

未来を思い、今を見つめる

高校教頭補佐 平林 浩史

2011年3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震から9年が経ちました。被災された方の中にはいまだ仮設住宅での生活を余儀なくされている方がたくさんいらっしゃいます。当時、今我々にできることは何かを考え、将来の社会貢献に目を向けた努力をしようという話があ

レジリエンス

高校教頭補佐 中村 圭

「悪いことを退け、目の前にある危機を見ないようにする偽りの楽天主義は現実的ではない。常に今、自分に、そして自分の周りに、何が起きているか、それを観察することから始めよう」これは、臨床心理学者アル・シーバート博士の言葉です。過酷な環境に置かれた時、再起・回復する心の力を「レジリエンス」と言います。このレジリエンス

挨拶

した分だけ世界が広がります。そこに新しい個性が生まれて各自の新しい道が開けていきます。もう一つ大切なことがあります。それは人間的な成長です。人にはそれぞれの個性があります。それを認めてお互いが成長していくことが理想です。自分の個性を、より高い次元で発揮するためには自分と同様に友人の個性も尊重しなくてはなりません。特に中学生の皆さんは勉強の途中で難しい所もあるかもしれませんがそれぞれの個性を尊重しつつ、高い次元で各自の個性を発揮していきましょう。

現在皆さんが抱えている不安は漠然ではないかもしれませんが、不安は行動によって取払われることを伝えていきます。この期間を、自分を高める肯定的な時間が与えられたと考え、活動してはいかがでしょうか。苦手な部分を学習して克服する、本・新聞を読んで知見を深める、職業・学問などを調べ自分の進路を考えるなど、自分の将来のために時間を費やすことは可能です。時間を有効に活用し、自分の人間力を高める取組を心掛け、未来をみつめ、不安を希望に変える取組を重ねていくことが大切です。

ワイトボート」が中1から高3までの全教室に整備されました。教務部では、中高37クラス、教員120人余りの時間割を数人がかりで作成、個々がストレスなく毎日の授業を進められる、よりよい時間割を目標としています。毎日の通学、クラスメートとの授業、休み時間のたわいもないおしゃべりやランチタイム等、単調に感じていたかもしれませんが、現在は一刻も早く、日常生活が再開することを望んでいるのではないのでしょうか。私たち教職員も皆さんが笑顔で登校できる日まで、様々な取り組みを行い、学習環境を整える努力をし続けようと考えています。

がりましたが、今回のコロナウィルス感染による非常事態宣言はこれに匹敵する社会生活の危機となりました。中高生が今できることは限られています。当たり前の日常が当たり前でなくなったとき、どんな行動がとれるのかでその人の真価が判ります。今できることは限られています。が将来の社会貢献、そして世界へ目を向けて毎日を過ごしていきたいものです。

の高い人はどんな人かを博士は研究する中で、逆境を乗り越える人たちには共通して「すべては学びだと考ええる」と言っています。悪条件や辛い経験からも学びとるものがあり、自分を成長させてくれると信じるのが大切なのですね。

新型コロナウイルスの影響で世界中が混乱し、誰もが不安を抱えていることと思います。こんな時こそ、一人ひとりが自分と向き合いながらレジリエンスを高め、逆境に負けない強い力を身に付けてほしいと願っています。

各部情報

総務部 2020 年度総務部方針など

新入生の皆さん、入学おめでとうございます。本来、総務部が君たちの入学式を取り仕切っていく予定でしたが、残念ながら延期となってしまいました。

東日本大震災から9年が経過した現在、日本を含め世界は新型コロナウイルスが猛威を振るう未曾有の状況になっております。

地震などの災害も時や人、場所すらも選びません。また、こうした状況だからこそ、今一度防災体制について各家庭で話し合っていたけるとありがたいと思います。

平常の学校生活に戻った際は、仕事塾や花壇プロジェクト、増穂祭、文化講演会など、PTA 活動を今まで以上に活性化するように連携していきたいと考えております。

この苦難を乗り越え、一刻も早く当たり前の日常生活が戻ることを祈りつつ、皆さんを裏方として支えていきたいと思っております。

1年間よろしく願いいたします。

クオレ 相談室「クオレ」の利用について

「クオレ」は芝浦柏の相談室のことです。場所は保健室の隣にあります。

クオレでは、生徒のみなさんだけでなく、保護者の皆さまからのご相談にも応じています。最近は、「ゲームやスマホばかりやって困っている」等の相談が多くなっています。

相談は予約制となっています。予約の取り方は、

- ①担任の先生や学年の先生に申し込む
- ②保健室に申し込む
- ③カウンセラーに直接申し込む

お申し込みの際は、詳しい相談内容をお伝えいただかなくても大丈夫です。

来校が困難な場合は、お電話での相談にも応じています。

カウンセラーの来校日につきましては、毎月発行している「保健だより」に掲載されていますので、ご確認ください。よろしく願いいたします。

進路部 今春大学入試状況

2020 年度入試の合格実績は、現役で東京大学2名、京都大学1名、東京工業大学5名、千葉大学15名をはじめとして国公立大学へ54名が合格しました。既卒生も旧帝大をはじめ、千葉大医学部や東京工業大学など最難関国立大などへ17名が合格を果たし、合計で71名が国公立大学合格という過去最高の実績を残しました。私立大学は定員厳格化が固定され、最上位大学だけではなく、いわゆる GMARCH 以下の大学での難化が進み、4～5年前と比較すると苦戦が続いています。反面、AO 入試や公募推薦での合格が増え、一昔前の受からない公募推薦からチャレンジするべき公募推薦へ変化しています。海外大学へ挑戦する生徒も増え、今年は延べ14名が合格しました。今年度はいよいよ共通テストが始まります。情報を適切に受け取り、厚みのある学力を身につけ、自己の進路実現を果たしてもらいたいと思います。

研究部 社会に目を向け、自ら考えること

皆さん、どのように過ごしていますか。このような時こそ自分のことに止まらずに広く社会に目を向け、自ら調べ、分析し、考えることをして貰いたいと思います。学習に関しても、自律した学びを身につけ、実践するときです。誰にも同じ時間が与えられています。これまで探究学習でお伝えしてきた自ら考えることを大切に主体的対話的で深い学びに取り組みましょう。

高校1,2年選択履修のSSⅠ・ⅡはGoogle classroomで募集し、講義と課題を配信しています。現在は探究テーマの設定に向け、自らを見つめ、社会に興味関心を持ち、自分自身で問いを設定すること、ウィキサーフィンで情報を集め、深めることを行っています。将来社会で自らを活かすことができるように、通常授業でのインプットをもとに、探究学習での創造的なアウトプットにも積極的に取り組んでください。

入試広報部 入試広報活動

新入生の皆さん、入学おめでとうございます。また、数多ある学校の中から本校をお選びいただき、ありがとうございます。

昨年度の学校内実施の説明会では、生徒会役員の生徒達の協力もあり、多くの受験生や保護者の方に本校のよさを伝えることが出来ました。特に高校の説明会では、学校行事の説明や校内見学の案内を生徒達が行い、説明会に訪れた受験生や保護者の方々に大変好評でした。日頃から広報活動にご理解・ご協力を頂き、ありがとうございます。

さて、今年度は新型コロナウイルスの影響で説明会や相談会が相次いで中止となっています。こんな時こそ、皆様の日頃の活躍が何よりもの広報になります。今年度の皆様の活躍を心より期待しています。

厚生部 新しいスタートに

皆さん、入学・進級おめでとうございます。厚生部は中高委員会、保健室や教育相談室（クオレ）の運営を通して、生徒や教職員が健康で安全な学校生活を送ることができるようにサポートしています。

新学期は緊張感を伴う日が続きます。いつも以上に体調管理を心掛け、手洗い・うがいを励行し、「休むことも仕事の内」と考えて、意識的に身体と心を労わるようにしましょう。

私たちは目に見えるものを追いますが、空気や言葉や気持ちなど、目に見えないものも大切に過ごしたいですね。中学高校時代は、心身ともに大きく成長する時期です。不安や心配なことがあれば、身近な人や保健室、クオレに相談してください。

芝柏での皆さんの充実した生活を応援しています。

教科情報

国語科 情報を正しく読み取り、ベストな行動を

現在、私たちは新型コロナウィルスによって未曾有の事態に陥っています。皆さんも勉強のペースがつかめないだけでなく、生活そのものへの不安を抱える日々だと思います。

こんな時に私たちがしなければならぬことは、きちんと情報を精査し、それに基づいた判断をし、正しい行動をとることです。まず、情報を正しく読み取ること、これが大切です。

ウェブ上には無数の情報がひしめいています。その中で何を信用しますか？そして、それが信用に値すると考える根拠はなんですか？

今こそ国語の授業で培った論理的な読解力が試される時です。いたずらに不安を煽る情報に振り回されないよう、正しい情報をキャッチし損ねないよう、情報を見極め、落ち着いた判断と行動をしてくれることを期待しています。

理科 基礎学力⇒探究力

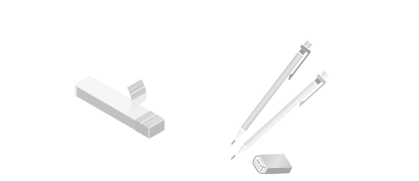
本校の理科では、実験・観察や問題演習を通じて様々な現象への理解を深めることに最も重きを置いています。これらの活動をバランスよく行うことが、基礎学力と探究力を効果的に育成することにつながると考えています。

理科の学習を通じて得られた科学的思考力・表現力、観察・実験の技能、いわゆる「探究力」は、将来どのような進路を選択するとしても必ず役に立つと考えています。

今年度は第2期SSH（スーパーサイエンスハイスクール）の3年次にあたります。昨年度から取り組んでいる通常授業の探究化を加速的に進めていく予定です。より充実した理科教育を通じて、生徒の皆さんの主体的な学びを支援していきたいと考えています。

社会科 芝柏社会科の取組み

今年新たに田巻先生、須藤先生、下条先生を迎え総勢12名で生徒達に向き合う授業を目指します。板書を書き写すだけの受動的な授業から脱却し、授業プリントを題材に考察・意見交換・発表する形式も心掛けます。今年度から始まる共通テストを見据えて、中学生段階から資料（史料）の読解、記述説明を今まで以上に重視します。新聞ノートや環境地図に加え、中3での論文作成の取り組みなど、探究活動を中心として生徒達の様々な興味・関心を喚起します。また、社会情勢をわかりやすく解説する「しばかし社会科通信」を半期に1回発行し、生徒達に世の中に目を向けるきっかけを提供します。



保健体育科 Win から “Happy” へ

ビジネスシーンでは、よく「Win-Win」という言葉が使われる。直訳すると「あなたも勝って私も勝つ」ということで双方に利益がある状況という意味で使われる。

私はつい最近、「Happy-Happy」という言葉に出会ってから、「Win-Win」はあまり使っていない。

学校は競争する場所ではなく、お互い幸せを感じる場所・失敗できる場であってほしい。“シバカシ”で出会ったのも何かの縁。生徒・保護者・教職員・芝柏関係者が『芝柏 Family』という感覚を持ち続けたいかがでしょうか？

最後になりましたが、保健体育科の使命は体育・保健の授業を活用して“運動の楽しさ”を生徒に伝えていくこと、生徒の“心と身体”を育てていくこと。運動は最高に楽しいです。共に楽しんでいきましょう。

数学科 「乗法的」感覚を理解する

小学校で学ぶ比例の考え方は、同じ量だけ増え続けるという意味で「加法的」であり、私たち人間の感覚は加法的です。ですから、未来を直線的な変化で考えたがります。——これは、1989年に発刊された森毅著「指数・対数のはなし」冒頭部分の要約です。

最近のコロナ報道では、「指数」という言葉をよく耳にしますね。感染者の拡大変化は指数関数、簡単に言うと「乗法的」です。「+」と「×」の感覚のズレが急激な感染拡大を引き起こします。

現代社会は乗法的なものに溢れています。感覚と現実のズレを理解し、正しく見る・考える力を養うことは、数学を学ぶ大きな目的の1つです。

SSHの指定も3年目を迎えました。未来を生きる生徒たちに大切な学びを、生徒と教員が一緒に考えられるような取り組みを行っていきます。

技術家庭・情報・芸術科 新たな時代にも感性の育成を大切に

中学では美術、音楽、技術家庭科。高校では芸術選択教科（美術、音楽、書道）、さらに情報、家庭科の合同教科会です。ICTの進化によって教育環境も、劇的に変わりつつある中、コロナウイルスにより自宅学習を余儀なくされている今、更なる学習の進化を早めなくてはならない状況になっています。また、一方で実技系の教科に於いて通信の授業では限界があります。私達はこの二つの問題を両立させる事がより良い環境になって来ると考えます。創造性の開発と個性の発揮を目指すため、ICTの可能性を探りながら、身体を通しての感性を育てる教育を提供しなくてははいけません。私達は各教科の特徴を活かし、普遍性と進化を持ち対応出来る様に、努力していきます。

教科情報

英語科

定期テストとは？

既成概念を疑わずにテストはあって当然と思っていると、チコちゃんに「Don't sleep through life!」と叱られるかもしれません。さて、筆者の考える学校とは「学びたい者が主体的にあらゆる資源を利用して知識・技術を習得して生きる力を身につけ、豊かな人生を送る準備をする場」です。そのため、受動的に受ける定期テストは必ずしも必要ではありません。大切なことは目的意識を持って授業に臨むことです。例えば英語を学ぶことで友達を作りたい、将来国内外でグローバルに活躍したいという思いで授業に臨めば、授業中のこまめなフィードバックが高い学習効果をもたらすでしょう。定期試験で良い点数を取るのではなく、何のために勉強をするのか意識をして日々の学習に取り組めると良いですね。

エスアイテック（売店） 生徒のみなさんこんにちは。

この原稿は、4月21日に書いています。

新型コロナウイルスが世界で猛威を振るっている昨今、皆さんはどのように日々を過ごされていますか。新学年での新しい生活が始まりましたね。

学校再開に向けて、売店では着々と準備を進めております。一日も早く、皆さんとお会いできること、楽しみに待っています。学校が再開されれば、様々な楽しい授業や学校行事があります。その時まで、皆さんも準備を進めていきましょう。三密を避け、時には軽い運動も良いでしょう。

売店はいつも生徒に寄り添っていたと考えています。沢山の仲間や先生、売店やその他の関係者が楽しい学校生活を再開できる様、準備を進めていますので、安心しておいってください。

それではまた元気な姿で会える日を売店一同生徒の皆さんを待っています。

2020年度

芝浦工大推薦について

芝浦工業大学は2020年3月24日、イギリスの高等教育専門誌『Times Higher Education (THE)』が発表した THE Japan University Rankings 2020において、日本全体の35位、日本の全私立大学の中で8位にランクインしました。「国際性」の評価が大きく向上し、昨年の44位から大幅なランクアップとなっています。第1回(2017年)から4年連続のランクアップで、過去最高位となりました。詳しくは、下記Webサイトをご覧ください。

<https://japanuniversityrankings.jp/rankings/total-ranking/>

2020年度38期生芝浦工業大学推薦についてですが、12月推薦は21名の出願があり、全員が合格となりました。内訳は、機械工2名、電子工1名、情報通信工3名、情報工3名、土木工1名、電子情報工1名、環境システム3名、生命科学(生命医工)1名、デザイン(生産プロダクト)2名、建築(空間建築)2名、(都市建築)2名、その他学科希望者0名となっています。年によって人気の学科が大きく変わり、今年は情報系学科の人气が高かったようです。他大学も含めた一般入試で人気系統の学科が芝浦推薦でも人気が出るというのが例年の傾向です。今年度は希望者全員が合格しましたが、出願の時点で基準に達してなく出願を断念した生徒もいますので、決して芝浦推薦が簡単というわけではありません。年々大学からのハードルが高くなり、SGUに指定されているため、特に英語が出来るのが前提となっています。英検2級の受検が必須となり、CSEスコアの基準も設けられています。また、遅刻・欠席・早退の数にはかなり神経質になっていますので、推薦を希望する以上はこれらの数が少ないのは当たり前という姿勢で学校生活を送る必要があります。3月推薦(2期推薦)に関しては、さらにハードルが高く、希望者は昨年に続き1人も出ませんでした。2期推薦に関しては現高校3年生を最後に廃止されます。

次にSSCⅢに関してですが、これは高校3年次に週1日大学に通い、大学の講義を受けることによって一足早く、大学の単位を取得できる制度です。所定の基準をクリアできれば推薦試験において優先的に学科選択できる権利が与えられます。今年度は11名の応募があり、6名が選考されました。SSCⅢは芝浦工大への進学が前提となるため、高校の授業でも特別のカリキュラムを組みます。そのため選考基準は高く、通常の芝浦推薦よりは難易度が上がります。2年次の前期の時点で欠点を有していると選考対象から外れますので注意してください。

後援部情報

2019年度活動報告

新学期を迎え、この度ご入学された高校生317名、中学生191名の皆さん、並びに保護者の皆様、ご入学おめでとうございます。

また、新しい学年に進級された皆さんは新しい生活に心弾ませていらっしゃると思います。

しかしながら、新型コロナウイルスの影響で学校への登校が出来ず、新入生に於いては新しい友人を作る時間が先延ばしになり、進級生に於いては友人に会えない状況が続き、不安に思うこともしばしばあったかと思います。このようなウイルスが流行して緊急事態になったのは初めてです。現在の状況の捉え方は様々だと思いますが、緊急事態で萎縮していた行動を活発化させ、そうなる以前よりも成果を出せる様な芝柏生になって頂きたいと思っています。

後援部は、保護者のみなさまからお預かりしているPTA会費の一部を芝柏の生徒や教職員の教育環境に役に立つ様にどのような支援をするかを検討し実行していく役割を担っております。施設・設備並びに教育用備品に関して、原則として中長期的視点を持って支援活動を行っております。昨年度の活動報告として、中学棟廊下と階段の塗装、清掃用具箱のリニューアルの実施を致しました。生徒や保護者の皆様からはとても綺麗になり明るくなったと好評を頂いております。

他には、野球部の防球ネット、吹奏楽部楽器保管ロッカー、ハンドボール部ユニフォーム等、教育用備品の支援を行ってまいりました。

決定をしましたが新型コロナウイルスの影響で完成は今年度になってからになります。引き続き、施設・設備の整備や生徒活動・部活動に必要な備品購入などの検討を行い生徒や教職員の皆様が安全かつ快適に過ごしやすい環境にする為の支援、前向きに活動する為の支援を行ってまいります。

■ 中学校19期生卒業式 ■

去る3月21日、本校大体育館に於いて中学19期生の卒業式が執り行われた。新型コロナウイルス感染拡大防止策として、縮小した式の進行や初の試みとなった映像中継など、例年と違った形で催された。今春より新たな環境へ羽ばたく彼らにとって、気持ちの区切りをつけられるような、そんな式典であった。



在校生代表の言葉（抄）

街道の桜も力強く咲き始め、新たな始まりを感じる季節となりました。中学19期生のみなさん、御卒業おめでとうございます。先輩方とともに過ごした日々は、走馬灯のように思い出すことができます。高校生にも負けない出し物で訪れた人を魅了した文化祭。応援団を筆頭に、各色を力強いものにまとめ上げ、後輩を先導してくださった運動会。そして、ひとりひとりの歌声が指揮者の手でまとめあげられ、観客の心を震わせた合唱祭。先輩方が輝いて見えたあの日々は、後輩に大きな道しるべを残してくださいました。切磋琢磨し、三年間ともに笑い泣いた日々は、先輩方にとって、どれも大切な過去になります。大切な過去があるからこそ、未来の一步は力強いと信じています。どんな困難でも前を向き、踏み出す力がある先輩方を、私たち後輩は誇らしく思い続けるでしょう。先輩方のさらなるご活躍とご健闘をお祈り申し上げます。

卒業生代表の言葉（抄）

3年前の4月、まだ心も体も小学生だった私たちは、中学校という環境に慣れるまで時間がかかりました。しかし、様々な学校行事を多くの同級生や後輩たちと協力して行い、共に喜怒哀楽を感じながら少しずつ成長してきました。振り返ると、どんな時も一生懸命でした。迷ったり後悔したり反省したりしながらも決して立ち止まらず前に進んできました。後輩には、私たちが遺したことから、良いと思ったものだけを継承してほしいと思います。そして、4月からより良い芝柏の中学生になれるよう、頑張ってください。両親には、この恵まれた環境の学校に通わせてくれたことを感謝したいと思います。先生方には、充実した学校生活の場を作っていただき、本当にありがとうございました。私たちは4月から高校生として新たな一步を歩みだすわけですが、この充実した中学校生活を糧にして、一層頑張りたいと思います。

中学19期生を代表して感謝の気持ちを述べたいと思います。3年間ありがとうございました。

学年情報

中学 1 年
「見えないもの」との闘い

私たちはどうも「見えないもの」「直接触れられないもの」があると不安になるようだ。遠くにあるもの、大きすぎてすべてが見渡せないもの、小さすぎて見えないもの、心のなかにあるもの、見る手段さえわからない未来や過去、時間、重力などの力、超能力や魔術、神仏、などなど。すぐ気づくように、人類が築き上げてきた「学問」「知性」とは、これら「見えないもの」をどう把握するか、コントロールできるようにするか、の絶えざる営みに他ならない。

新型ウィルスという「見えないもの」とどう闘うかは喫緊の課題である。だが中学生生活を始める私たちは、この機会（文字通り chance）に『なぜ学ぶのか』『学ぶという営み』が持つ意義について思いを巡らすことも、また十分に必要なことである。考えよう。

高校 1 年
保護者の皆様へ

入学式が行えないまま、在宅での高校生活が始まり、様々な面でご心配やご不便をおかけしております。学校としてできる限りのサポートをと考え、特に子どもたちの学習と心のケアに腐心してまいりました。限られた環境の中で、行き届かない面も多々あったかと思いますが、学校再開後はその分もしっかり支援させていただく所存です。何より子どもたちが一番ストレスを抱え、学校再開を待ち望んでいることと思います。いま、まだ終息が見えない中ですが、これまでの約1ヶ月、我々が発してきたメッセージを真摯に受け止め、向上心を持って日々過ごしているものと信じております。こんな時代を生き抜かなければならないからこそ、不幸とは考えず、困難を乗り越えられる逞しい人に育ってほしい、そう願わずにはいられません。今後もご理解、ご協力を賜ることがあるかと思ひます。が、よろしくお願い申し上げます。

中学 2 年
先輩として、後輩としての2年生

シバカンでの学校生活も2年目を迎えました。今年度の行動指針は『互いに認め、互いに高められる2年生』です。他人の気持ちを考えられる、信頼、協力しあう仲間であってください。そして、22期生の1年先輩として、生活や学習面で良いお手本になりましょう。また、次年度は最上級学年になります。3年生の姿をしっかり学び、支えながら部活動や学校行事、生徒会活動などで活躍することを期待しています。保護者の皆様、今後もお子様が有意義なシバカン生活を送れるように手助けさせて頂きます。また、思春期による体調や気持ちの変化が起こりやすい時期でもありますので、ご家庭でもお子様の体調をはじめ何か気になることがあります。引き続きよろしくお願い致します。

高校 2 年
いよいよ高2！

休校も2か月近くなろうとしています。ご家庭での様々な事情の中、学校における教育活動にご理解・ご協力を賜りありがとうございます。オンラインによるHR・個人面談・質問会、classroomにおける課題配信等、学校としてできる限りのことをしたいと考えています。そしてこのような状況の中、情報を整理・取捨選択し、目標をもって自分自身の生活に生かしていった欲しいと思います。生活にメリハリをつけ、やらなくてはいけないことを考えていきましょう。友達とも気軽に遊びに行けず世界中がストレスを感じている今、命がけで働いている人のことも忘れて欲しくありません。誰もが未来が見えない今だからこそ、自分をしっかり持って、家族含め周りの人に感謝をしつつ日々を過ごしてください。家の手伝いもしっかりしてくださいね。ご家庭においても、ご心配をおかけすることもあるかと思いますが、よろしくお願いいたします。

中学 3 年
集大成を目指して

今年度の始まりはいつもと異なるものとなりましたが、この間、ご家庭でも多大なご協力をいただきありがとうございます。休校中に生徒たちから毎日報告される取り組みと決意から、この間にも少しずつ自律し、成長していることを感じます。そして、学校再開とともにこれまで溜めてきたエネルギーを爆発させてほしいと思います。今年の増穂祭、運動会、合唱祭の3大行事は最上級生としての活躍が期待されます。クラスや学年を超えて、中学全体を見通した気づきや行動がとれるように支えながら、一人ひとりの雄姿をしっかりと見届けたいと思います。それと同時に Web コンテストも2年目を迎えます。今年は作品内容だけでなく、作品制作の進め方などを昨年日本一になった先輩や学校代表に選ばれた仲間から学びながら、探究を深めてくれることを願います。

高校 3 年
高校3年学年情報

休校期間中も、変わらず学年運営にご理解とご協力をいただきありがとうございます。休校期間が延長され、お子様の体調や精神面、学習面でのご心配も大きかったものと思います。この間学年では、オンラインで担任団による朝の HR および個人面談を行うとともに、課題配信や解説授業、質問会等を開催しました。学力向上に役立てていただくとともに、面談は、この暗闇の中で先を照らすサーチライトとなったものと思います。担任からは、社会の混乱や喧騒に惑わされることなく、自分自身と向き合って目標達成のための努力を続けている様子が伝えられ、ほっとするとともに誇らしく思いました。学校再開の折には、受験に向けた学習も更にギアが上がるものと思ひます。部活も学校行事も残された機会は僅かかもしれませんが、完全燃焼できるよう、背中を押して応援してあげたいと思います。

進路情報

2019 年度合格実績速報

学校名	現役	既卒	合計
国公立大学			
東京大学	2 (0)	0 (0)	2
京都大学	1 (0)	0 (0)	1
北海道大学	1 (1)	2 (0)	3
東北大学	1 (0)	1 (0)	2
名古屋大学	0 (0)	1 (0)	1
九州大学	0 (0)	3 (0)	3
東京工業大学	5 (1)	1 (0)	6
東京医科歯科大学	1 (1)	0 (0)	1
千葉大学	15 (4)	1 (0)	16
筑波大学	7 (3)	1 (0)	8
電気通信大学	2 (0)	0 (0)	2
東京都立大学	3 (1)	1 (0)	4
茨城大学	1 (1)	0 (0)	1
埼玉大学	2 (0)	0 (0)	2
横浜国立大学	1 (0)	0 (0)	1
横浜市立大学	0 (0)	1 (0)	1
山形大学	1 (0)	0 (0)	1
群馬大学	1 (0)	1 (1)	2
山梨大学	0 (0)	1 (0)	1
高崎経済大学	2 (0)	0 (0)	2
新潟大学	0 (0)	1 (0)	1
富山大学	2 (0)	0 (0)	2
信州大学	2 (0)	0 (0)	2
愛知教育大学	1 (1)	0 (0)	1
鳥取大学	1 (1)	0 (0)	1
広島大学	1 (0)	0 (0)	1
佐賀大学	1 (0)	0 (0)	1
国公立大学 合計	54 (14)	15 (1)	69 (15)
国立大学校			
防衛医科大学校	0 (0)	1 (0)	1
防衛大学校	0 (0)	1 (0)	1
国立大学校 合計	0 (0)	2 (0)	2 (0)
私立大学			
青山学院大学	11 (3)	1 (0)	12
亜細亜大学	1 (0)	2 (0)	3
桜美林大学	1 (0)	0 (0)	1
大妻女子大学	1 (1)	0 (0)	1
学習院大学	14 (5)	0 (0)	14
北里大学	4 (1)	1 (0)	5
共立女子大学	1 (1)	1 (1)	2
杏林大学	3 (0)	0 (0)	3
慶應義塾大学	8 (5)	1 (0)	9
恵泉女学園大学	1 (1)	0 (0)	1
工学院大学	3 (0)	1 (0)	4
國學院大学	3 (1)	1 (0)	4
国際基督教大学	1 (0)	0 (0)	1
国士舘大学	1 (0)	0 (0)	1
駒澤大学	1 (0)	0 (0)	1
産業能率大学	2 (1)	0 (0)	2
芝浦工業大学	35 (4)	23 (0)	58
芝浦工業大学（推薦）	21 (6)	0 (0)	21
上智大学	11 (4)	3 (0)	14
昭和女子大学	1 (1)	0 (0)	1
成蹊大学	5 (3)	7 (0)	12
成城大学	3 (2)	1 (0)	4
聖心女子大学	1 (1)	0 (0)	1
専修大学	4 (0)	3 (0)	7
拓殖大学	0 (0)	1 (0)	1
玉川大学	1 (0)	0 (0)	1
中央大学	14 (4)	9 (0)	23
帝京大学	2 (1)	2 (1)	4
デジタルハリウッド大学	1 (0)	0 (0)	1
東海大学	4 (3)	0 (0)	4
東京医科大学	1 (0)	0 (0)	1
東京家政大学	4 (4)	0 (0)	4
東京経済大学	1 (0)	1 (0)	2
東京工科大学	2 (1)	1 (0)	3
東京造形大学	0 (0)	1 (0)	1
東京電機大学	13 (1)	5 (0)	18
東京都市大学	4 (3)	3 (0)	7
東京農業大学	17 (10)	1 (0)	18
東京薬科大学	1 (0)	0 (0)	1
東京理科大学	48 (12)	18 (0)	66

2020 年 4 月現在

※（ ）は女子の数

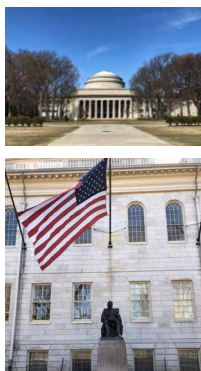
学校名	現役	既卒	合計
私立大学			
東邦大学	14 (6)	4 (0)	18
東洋大学	28 (8)	17 (0)	45
日本大学	48 (11)	19 (0)	67
日本社会事業大学	1 (1)	0 (0)	1
日本女子大学	6 (6)	0 (0)	6
日本女子体育大学	2 (2)	0 (0)	2
法政大学	25 (4)	12 (0)	37
星薬科大学	1 (0)	0 (0)	1
武蔵大学	3 (0)	1 (0)	4
武蔵野大学	4 (3)	1 (0)	5
武蔵野美術大学	0 (0)	1 (0)	1
明治大学	27 (10)	3 (0)	30
明治学院大学	10 (3)	1 (0)	11
明治薬科大学	2 (2)	0 (0)	2
明星大学	3 (1)	0 (0)	3
立教大学	30 (9)	9 (0)	39
早稲田大学	29 (7)	2 (0)	31
国際武道大学	1 (0)	0 (0)	1
秀明大学	1 (0)	0 (0)	1
城西国際大学	0 (0)	1 (0)	1
千葉工業大学	26 (3)	52 (0)	78
千葉商科大学	0 (0)	1 (0)	1
中央学院大学	1 (1)	1 (1)	2
帝京平成大学	1 (0)	0 (0)	1
東京歯科大学	2 (1)	0 (0)	2
流通経済大学	3 (0)	0 (0)	3
麗澤大学	1 (0)	0 (0)	1
和洋女子大学	2 (2)	0 (0)	2
つくば国際大学	1 (0)	0 (0)	1
城西大学	0 (0)	1 (0)	1
女子栄養大学	1 (1)	0 (0)	1
獨協大学	5 (2)	1 (0)	6
日本工業大学	2 (1)	0 (0)	2
日本薬科大学	1 (0)	0 (0)	1
文教大学	1 (1)	2 (1)	3
目白大学	2 (2)	0 (0)	2
麻布大学	1 (0)	0 (0)	1
神奈川大学	3 (1)	0 (0)	3
神奈川工科大学	2 (0)	0 (0)	2
関東学院大学	1 (0)	2 (0)	3
東京工芸大学	2 (1)	1 (0)	3
日本獣医生命科学大学	2 (2)	0 (0)	2
横浜薬科大学	1 (1)	0 (0)	1
国際医療福祉大学	2 (2)	1 (1)	3
金沢工業大学	3 (0)	0 (0)	3
帝京科学大学	2 (0)	0 (0)	2
藤田医科大学	1 (0)	0 (0)	1
京都美術工芸大学	0 (0)	1 (0)	1
同志社大学	1 (0)	1 (0)	2
立命館大学	8 (1)	2 (0)	10
龍谷大学	1 (0)	0 (0)	1
関西大学	3 (0)	0 (0)	3
近畿大学	6 (1)	0 (0)	6
岡山理科大学	1 (1)	0 (0)	1
立命館アジア太平洋大学	4 (1)	0 (0)	4
私立大学 合計	578 (177)	224 (5)	802 (182)
海外大学			
【英国】 ロンドン大学 UCL	2 (0)	0 (0)	2
マンチェスター大学	1 (1)	0 (0)	1
キングス・カレッジ・ロンドン	1 (1)	0 (0)	1
ロンドン大学クイーン・メアリー	1 (1)	0 (0)	1
リバプール大学	1 (0)	0 (0)	1
ケント大学	1 (1)	0 (0)	1
ブライトン大学	1 (0)	0 (0)	1
【豪州】 メルボルン大学	1 (1)	0 (0)	1
クイーンズランド大学	1 (0)	0 (0)	1
シドニー工科大学	1 (0)	0 (0)	1
クイーンズランド工科大学	1 (1)	0 (0)	1
マッコーリー大学	1 (1)	0 (0)	1
南オーストラリア大学	1 (1)	0 (0)	1
【米国】 ネブラスカ大学	1 (0)	0 (0)	1
海外大学 合計	15 (8)	0 (0)	15 (8)

グローバル委員会 海外大学進学情報

2020年度海外大学合格状況については、以下の14大学です。
()内の数字はQS世界大学ランキングの順位です。

【イギリス】ロンドン大学UCL (8位)、マンチェスター大学 (27位)、キングス・カレッジ・ロンドン (33位)、ロンドン大学クイーン・メアリー (126位)、リバプール大学 (181位)、ケント大学 (368位)、ブライトン大学【オーストラリア】メルボルン大学 (38位)、クイーンズランド大学 (47位)、シドニー工科大学 (140位)、クイーンズランド工科大学 (224位)、マッコーリー大学 (237位)、南オーストラリア大学 (274位) 【アメリカ】ネブラスカ大学

本校では毎年生徒・保護者を対象とした大学進学説明会を春と秋に実施しております。主にイギリス、オーストラリア、アメリカ、カナダの大学の入学制度についての説明ですが、その中でもイギリスのロンドン大学UCLの進学説明会は今年で7年目を迎えます。直接ロンドン大学UCL担当者が来校し英語で説明を行い、昨年の参加者は200名を超えました。また、クイーンズランド大学のファウンデーション・コースの説明会も行っております。どの大学説明会でも、具体的な出願条件についての話がありますので、ぜひご参加ください。今年度も予定通り実施できることを願っております。



SSH 成果報告Ⅱ 高校生国際シンポジウム

2月13日(木)から14日(金)にかけて第五回高校生国際シンポジウムが鹿児島県の宝山ホールにて開催され、本校からは、高2の文系2チーム4名、高1理系1チーム2名の計3チーム6名が参加しました。そのうち、「紅花の水洗浄を簡略化した新たな染色方法について」というテーマに取り組んだ、高校1年生の柿本玲衣、酒井唯希が、自然科学・数学分野(ポスター部門)で最優秀賞を受賞し、来年度のGlobal Link Singaporeへの出場権も手にしています。二人は科学部に所属し、中学生の頃から同テーマについて粘り強く、地道な取り組みを続けており、その成果が実を結ぶ形となりました。また、全国各地の高校生との交流を経て、新たな刺激も手にしたようです。今回は、参加した6名全てが女子生徒であり、本校の探究活動における女性の活躍を印象付ける2日間となりました。



SSH 成果報告Ⅰ 生徒探究発表会

研究部

2月22日(土)にSSH成果発表会が行われました。

中学・高校合わせて200名以上の生徒が参加し、ポスター発表やプレゼンテーションを通じて、各々の探究の成果を発表しました。発表当日は、外部から多くの教育関係者にご来校いただき、大盛況の一日となりました。生徒たちは、これまでの自分の研究の成果を、見知らぬ他者に限られた時間内に伝えきるといった困難に直面しながらも、聞き手との対話を通じて相互理解を深めていきました。発表を終えた生徒たちからは、「繰り返し発表するうちに、わかりやすく伝えられるようになった」「とても良いアドバイスをいただいたので、これからの研究に生かしたい」などの声が聞かれました。

本校は2018年度に二度目のSSHの指定を受け、今年は二年目となります。理系だけでなく文系の課題研究も活性化しており、学校全体として探究活動への機運が年々高まっているように感じます。「創造性の開発と個性の発揮」という建学の精神に恥じぬよう、これからも生徒の探究心を育てていければと思います。



SSH 海外研修会 '19 Science Tour in Viet Nam

2020年1月17日から23日までの7日間、ベトナムのハノイ市とホーチミン市において、高校1、2年生15名が研修を行いました。「環境と国際」をテーマに、「広い視野を持ち、課題を見つけ探究する力」「発信する力」「国際協力」の3点に焦点をあてたプログラムに取り組みしました。

現地FPT高校の生徒との共同研究、現地の大学教員による講義、国際的なビジネスに取り組む方々との交流、国際協力プロジェクトに取り組む日系企業訪問と現場視察、現地大学教員の指導によるマングローブ林でのフィールドワーク、いずれも充実した研修となりました。

世界に視野を広げるとともに、先端的な科学技術への洞察を深める貴重な機会となりました。



あとかぎ

人はいさ 心も知らず ふるさとは
花ぞ昔の 香ににほひける

——紀貫之／人や社会情勢が変わって

も、校舎周辺の花々は例年通り美しく咲いている。普段と異なる生活を強いられ不安になる時にこそ、不変の美がもたらす「安心感」に一層救われているのかもしれない。